



2022年～2023年

賄い弁当実証実験についての最終報告

広島大学生協と株式会社WEAVE(代表 教育学部学生)とで行った実証実験、およびその後2023年2月10日までの実施結果についての報告。

■実証実験の目的とねらい

・まだ食べられる食品を消費者のもとに届け、持続的に食品ロスを減らすことを実現するためのモデルを検証する

■実証実験期間:

- ① 2022年10月12日～11月11日
- ② 2022年11月14日～12月9日

実施店舗: 北1食堂

利用個数/金額(税込):

- ① 206個/ 59,200円
- ② 158個/ 33,990円

利用者: アプリ登録者 約500名

販売日のアクセス者 約50名/日

提供個数: 5～10個程度/日

■食品ロスへの貢献

・食品ロスは量(重量)では計測していませんが、金額(販売価格)で記録しています。実証実験を開始する以前9月1日から10月10日の1日あたり平均は9,802円でした。実証実験中10月11日～11月30日までの1日あたり平均は3,041円です。

金額ベースですが、69%削減されています。

大好評につき帰ってきた!
期間限定
平日 10月 12日(水) - 11月 11日(金)
注文受付は各食堂閉店後 ※北1食堂から順次 取扱店拡大予定
お弁当1つ 300円程度
いかがですか?
LINEを追加して 予約&詳細を CHECK!
この事業は、広島大学生協と株式会社WEAVEが協働で食品ロス削減に取り組む活動です。
※今回はあくまでも実証実験として行います。
※メニューや提供量はその日の余っている食材によって変わります。
※お弁当にご飯は含まれません。おかずのみです。
※なくなり次第終了とさせていただきます。
UNIV x WEAVE
お問い合わせ 広島大学生協食費部: hirodafood@hirocoop.jp
教育学部4 教員室: 0396454@hirocoop.ac.jp

■利用者アンケートから(賄い弁当を購入した理由)

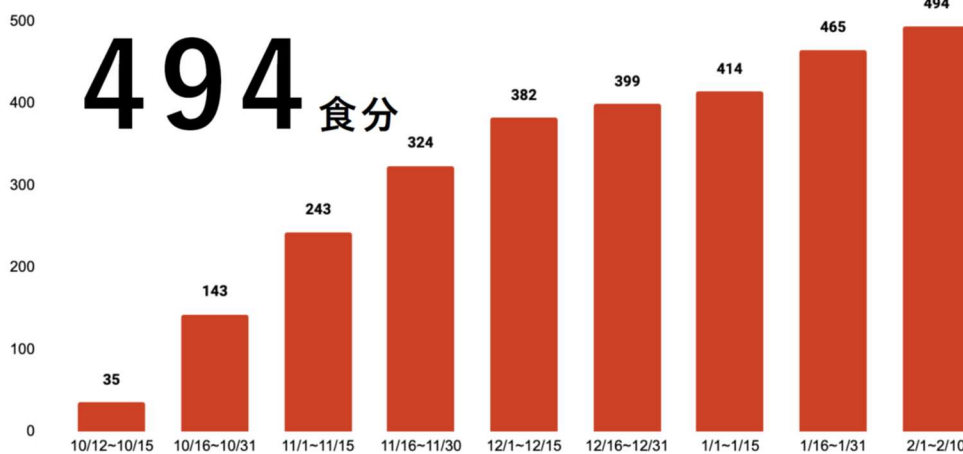
- ・捨てられるのは勿体ない。捨てられるなら食べたいと思った
- ・食品ロスに貢献したいから
- ・購入することで食品ロス削減に少しでも寄与していると思うと良い気分になるし、弁当のコスパもよくて満足できるから
- ・研究が終わってから買って帰るのにちょうどよい
- ・量もあって安い

■利用状況/結果

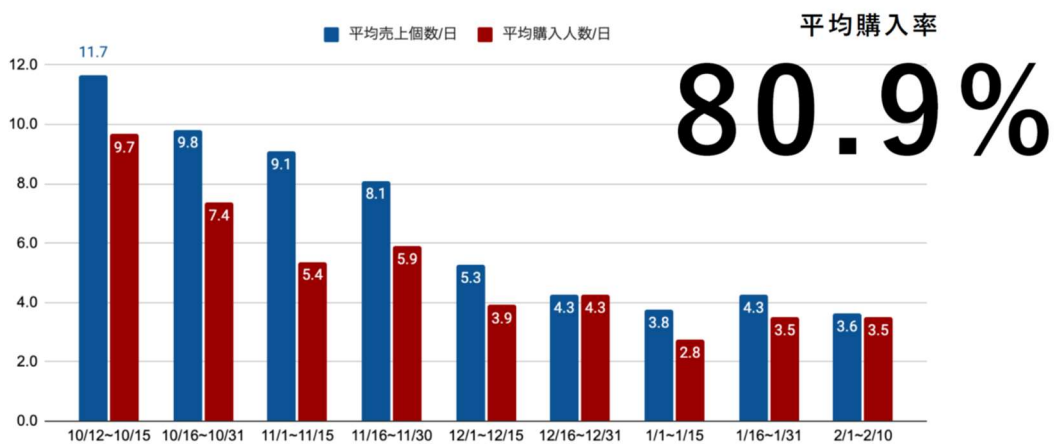
利用状況/結果

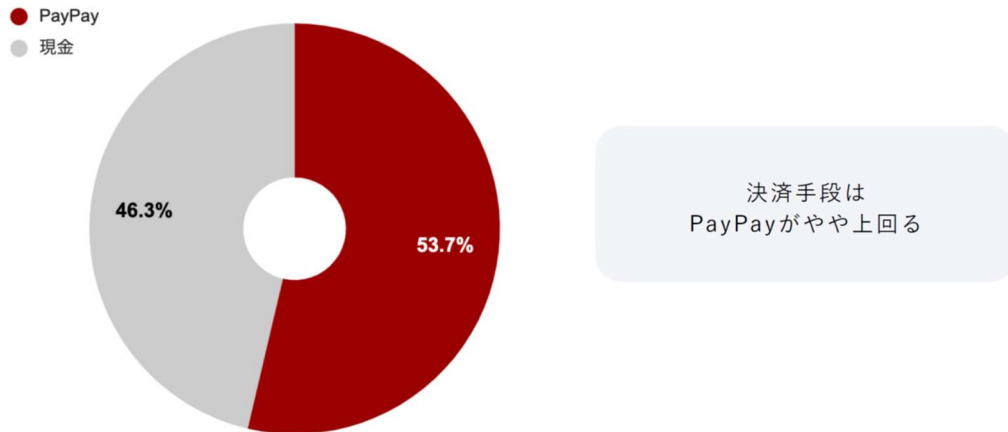


累計売上個数

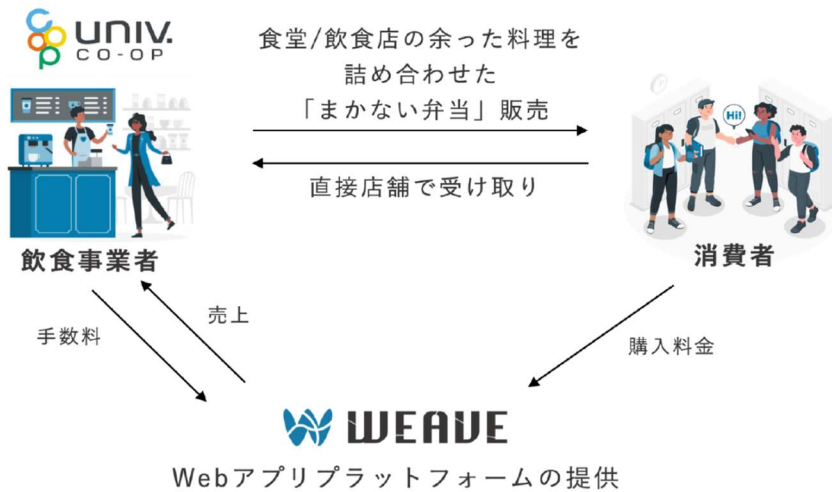


利用状況/結果





■ スキーム



- ・飲食事業者...調理済み、廃棄予定の食品を弁当に詰め、Webアプリを通じて注文受付、売上に応じた利用手数料をWEAVEへ支払い
- ・消費者...Webアプリを通じて予約注文、決済(現地決済可)、現地受け取り
- ・WEAVE...Webアプリの提供、カスタマーサポート、購入料金受け取り(現金の場合店頭の貯金箱へ)、売上の振り込み

- ・ 食堂営業終了時に残っている「主菜」「副菜」をパックに詰め合わせます。
- ・ 定価の半額程度(300円くらい)の値入をします。
- ・ Webアプリにそれらを登録します。

- ・ 利用者はアプリにアクセスし、注文して、食堂へ取りに行きます。
- ・ 食堂でPayPayまたは現金で支払って、商品を受け取ります。

■ 課題

- ・ 食堂はそもそも終了時に残るのを減らしたい。
- ・ したがって、「賄い弁当」として提供できる商品は増えない。

- ・アクセスが増えれば増えるほど、何回アクセスしても「売り切れました」表示になってしまう
 - ・次第にアクセスしなくなる
- ⇒結果、プラットフォームを維持するだけの「収支」にはならなかった